どんぐり通信



海外文学特集



『少年弁護士 セオの事件簿　1』

（岩崎書店）

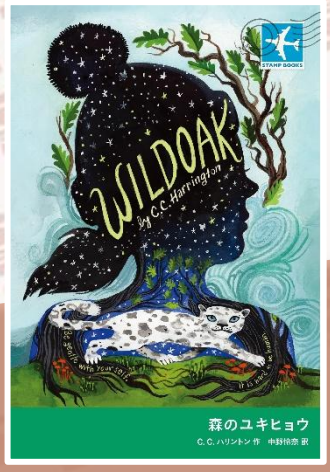
ジョン・グリシャム／作

石崎　洋司／訳

933/クリ/YA

両親が弁護士で、自身も弁護士に憧れる 13 歳の少年セオ。ある日、学校の授業で見学した審理中の殺人事件のカギをつかんだ。周りの大人と協力して事件の真実を暴く、法廷ミステリー。

【最新 7 巻のシリーズ1巻目】



『森のユキヒョウ』

（岩波書店）

C.C.ハリントン／作　中野怜奈／訳

933/ハリ/YA

吃音に悩み、学校になじめないマギーは、おじいさんが住む田舎でしばらくの間過ごすことになった。ある日森の中で、罠にかかったユキヒョウの子と出会う。捨てられたユキヒョウの「ランパス」と、開拓されそうになっている大好きな森を守るため、マギーは勇気のある行動に出る。マギーとランパス、交互に視点が替わるため飽きずに読みやすく、海外文学を読み慣れていない方にもおすすめの一冊。

『アフェイリア国とメイドと最高のウソ』（小学館）

ジェラルディン・マコックラン／著　大谷真弓／訳

933/マコ/YA

2 か月間雨が続くアフェイリア国。天候がこの先も回復しないと知った女性最高指導者・スプリーマは「視察」に出かけたきり職務を投げ出し帰ってこない。妻は帰ってくると信じているスプリーマの夫・ティモールは屋敷で働いていたメイド・グローリアに当面の間スプリーマの影武者をするよう命じる。いやいや影武者をつとめるグローリアだったが、水害にあった市民の現状を知り、本当に国を救うために奮闘する。



★この紙面で紹介しているすべての書籍は、流山市内の図書館で借りることができます。